

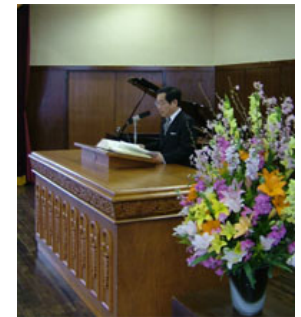
第62回 活水中学校卒業式

県内中学校トップを切って、3月13日（金）午前10時から第62回活水中学校卒業式が行われました。中学校も高校と同じく旧制服最後の卒業生となりました。礼拝形式の卒業式では、讃美歌・聖書朗読の後、神田校長よりひとりひとりに卒業証書が手渡されました。

神田校長より、『義務教育を終えた皆さんが高校生になるということは、第一段階の親離れ・自立を迎える時期であると思います。今以上に責任ある行動を取れる人になって下さい。また、ひとりひとりに秘められた可能性を引き出す“可能性発見”の高校生活を送ってください。』との式辞がありました。

続いて、野々村学院長が、『自分に与えられた多くの賜に気づき、苦難の時代が続く中で希望を持って、将来、社会に役立つように賜を磨き、立派に成長してください。』との祝辞を述べられました。

在校生による「エホバは わがひつじかい」の合唱の後、卒業生を代表して伊原育美さんが、『辛いとき手を差し伸べ、楽しいときに一緒に笑ったりふざけあったりと、いつもそばにいた友達。中学校での3年間は、忘れることのできない大切な宝物です。』と感謝の辞を述べました。卒業生全員が、たくさんの思い出と新たな希望を胸に、巣立って行きました。



卒業！おめでとう